

## 観音原団地上（安芸霊園西側）の土石流跡について

4月27日午後、観音原自治会長と共に、観音原団地の上にある安芸霊園西側の谷の調査に入りました。ここは広島県の土砂災害警戒区域図で、広いレッドゾーンが描かれているところですが、昨年7月の豪雨では大量の水が流出し、集会所の付近が浸水したものの、大きな土石流は出ませんでした。

今回、霊園西側の雑木林の中にある水路をたどっていくと、1 mはおろか5 mにも達する巨大な石（コアストーン）がゴロゴロしており、かつて破壊的な土石流が出ていることがわかりました。さらに谷の上流には5 mを越える巨大な岩が引っ掛かるようにして谷をふさいでいるところもありました。また、この谷の下流にある福田ICの工事中には、3 mにも達する巨大なコアストーンが、工事で削られた斜面に出ていました。過去には今の若山酒店の近くまで巨大なコアストーンを伴った土石流が流れてきたことを示しています。

現在このレッドゾーンの下流側（北側）には、広い舗装道路ができています。もしも5年前の八木のような集中豪雨が降ってこのレッドゾーンに土石流が出てきた場合、数メートルにも達する巨大なコアストーンを伴った高速の土石流がこの舗装道路を伝って下の観音堂や若山酒店付近まで一気に流れ出る可能性があります。福木小学校への避難路としてこの付近を通過することは、ほんとうに危険だということもわかりました。

今後、私たちはこうした調査や地域の皆さんの声を参考にしながら、この地域における『わがまち防災マップ』を作成していく必要があると思います。（記責 防災士 越智秀二）



図1. 2018年7月7日朝、福田三丁目の観音堂付近

福木トンネル上からの土石流が流入し、大量の泥水と土砂で観音堂の周囲が埋まった。5年前の八木程度の豪雨が降った場合、観音原団地上の墓地の西側から、巨レキを伴った土石流が押し寄せ、これ以上の被害になる可能性がある。

## 観音原団地周辺のイエローゾーン、レッドゾーン

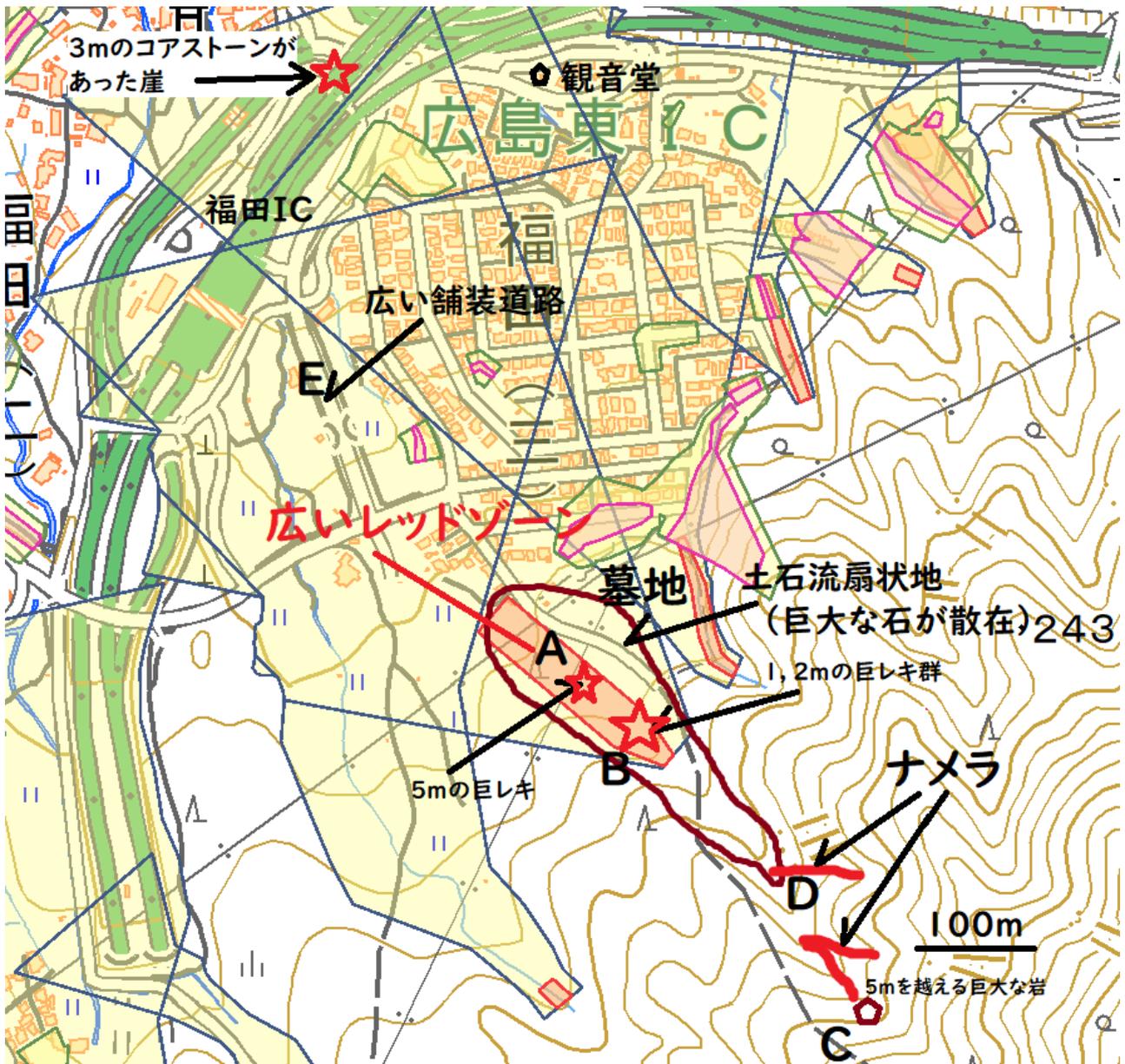


図2. 観音原団地周辺のイエローゾーン、レッドゾーン (「土砂災害ポータルひろしま」より)

**土石流扇状地**：過去に土石流が出て堆積した土石でできた細長い扇形の土地

**ナメラ**：過去に土石流が出て、谷に堆積していた土砂をはぎ取り、現れた岩盤が露出しているところ

5年前の八木豪雨と同規模の雨量で想定される土石流被害

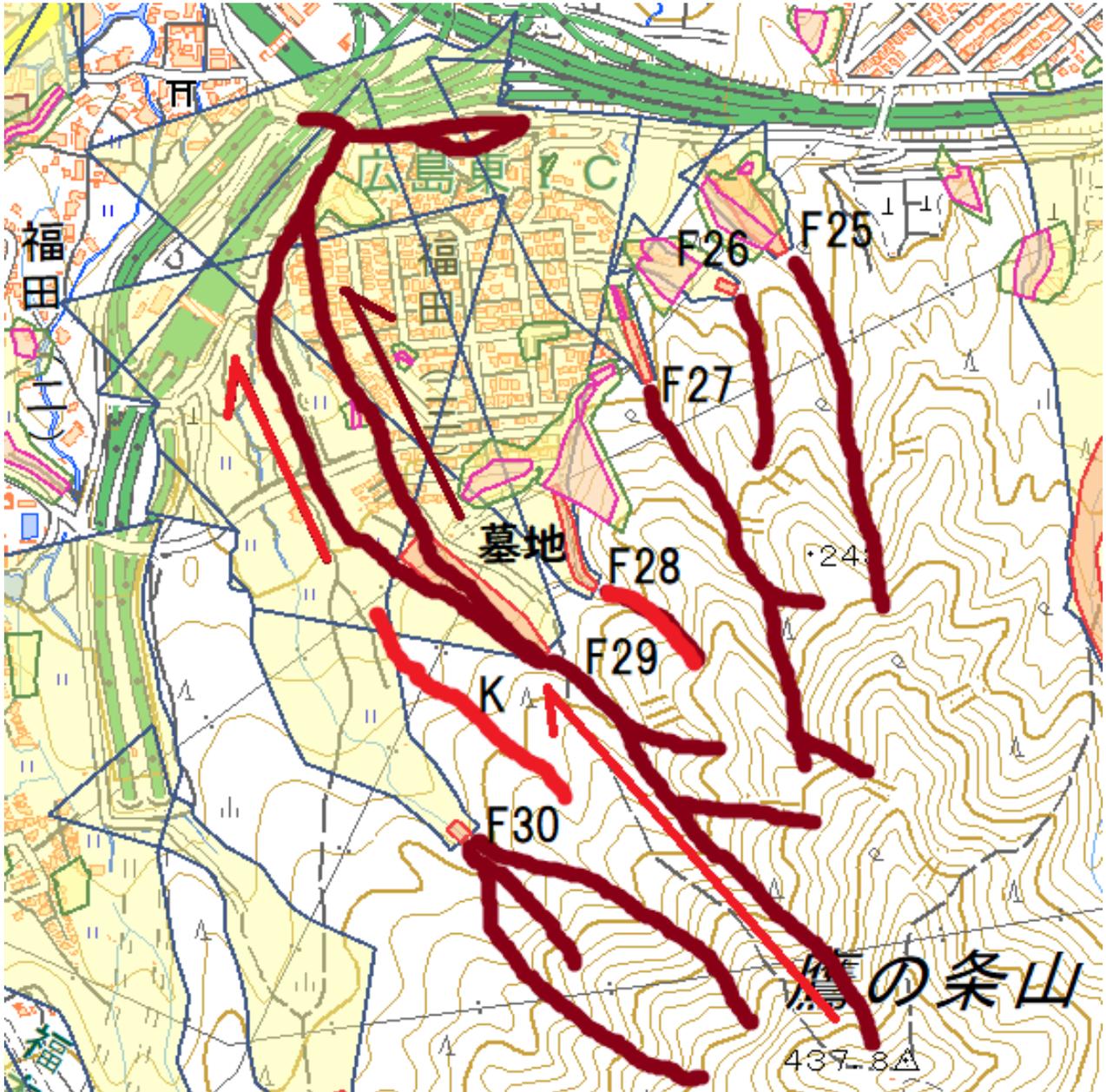


図3. 5年前の八木付近に降った程度の豪雨が降った場合に想定される土石流被害

赤色：2018年7月の土石流 茶色：想定土石流（F29は下流部まで作図）

5年前の八木地区同様に、総雨量200ミリ以上、時間雨量80ミリ以上の豪雨が降った場合を想定。



図4. 鷹の条山

山頂付近の山麓に巨大な岩、ふもとの緩斜面の雑木林の中には巨大なコアストーンが散在している。過去に破壊的な土石流が出た跡である。



図5. 鷹の条山山麓の巨大な岩（矢印）



図6. 山頂付近の岩と枯れたアカマツ

巨大な岩とアカマツの立ち枯れが目立ち、破壊的な土石流が発生する可能性が高い場所といえる。



図7. A地点の巨レキ（約5m）



図8. B地点の巨レキ群

その下側には流水による小さな谷ができています。この谷が集会所まで続いている。次に巨大な土石流が流出してきたときにこの巨レキ群がさらに押し流される可能性もある。



図9. C地点 谷をふさいだ格好になっている5m以上の巨レキ



図10. C地点の上流側には1mを越える角ばった巨レキが不安定な状態で大量に分布している。その多くが苔むしており、前回の土石流後、長い年月の経過が伺える。次の土石流が発生した場合、これらの巨レキが押し流されて出てくる可能性が高い。



図 1 1. D 地点のナメラ

過去に土石流が出て、谷に堆積していた土砂をはぎ取り、岩盤が露出している所。岩盤には木が生え、土石流後、長い年月が経っているといえる。



図 1 2. E 地点（上側）



図 1 3. E 地点（下側）

鷹の条山からレッドゾーンに出た土石流は、ここを一気に流れ下り、観音堂付近へと押し寄せると考えられる。

## ＜土石流ビフォー・アフター＞

### 1. 福田三丁目 安芸霊園上の場合



図14. 土石流発生前（2018年7月3日） 木の根元には苔が生えていた。



図15. 土石流発生直後（2018年7月7日）  
Aとその手前の立木が根こそぎ流されている。

## 2. 八木三丁目の場合



図16. 土石流発生前の様子（2011年11月11日）



図17. 土石流発生直後の図（上とほぼ同じ地点の様子 2014年8月23日）

<福田と八木の雨量のちがい>

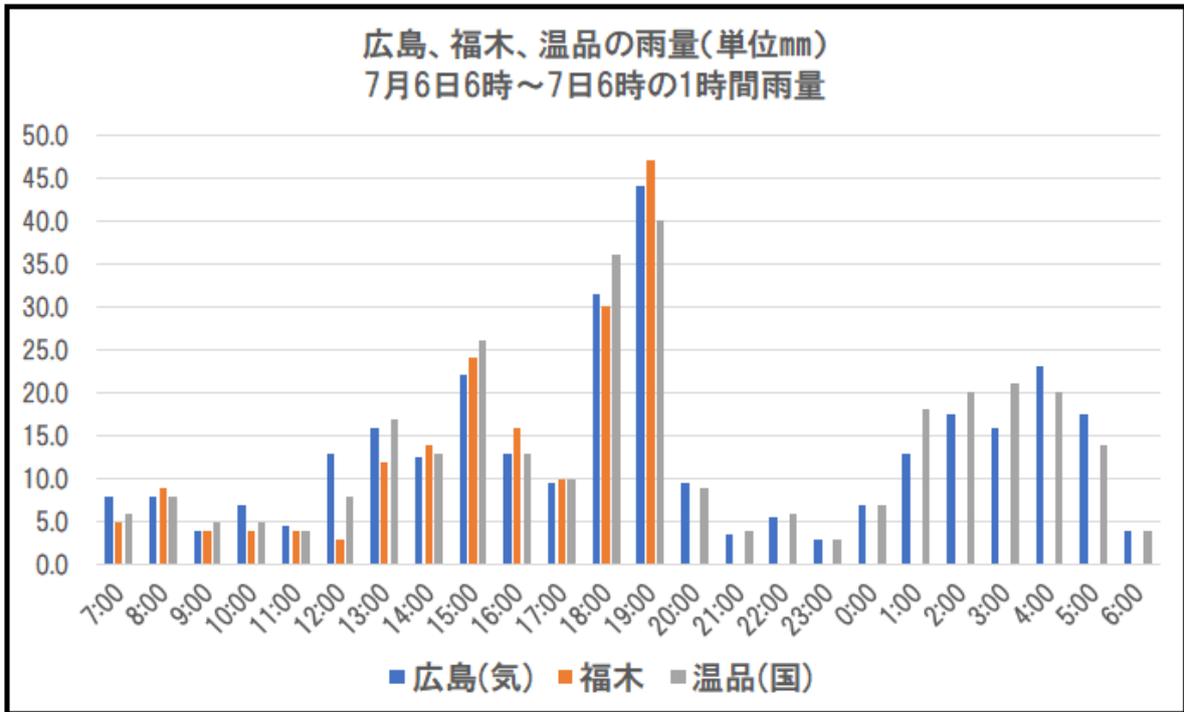


図18. 2018年7月6日の福田付近の雨量

激しい雨だったが、午後5時から7時の間に降った雨は1時間あたり30ミリと47ミリの強い雨だった。

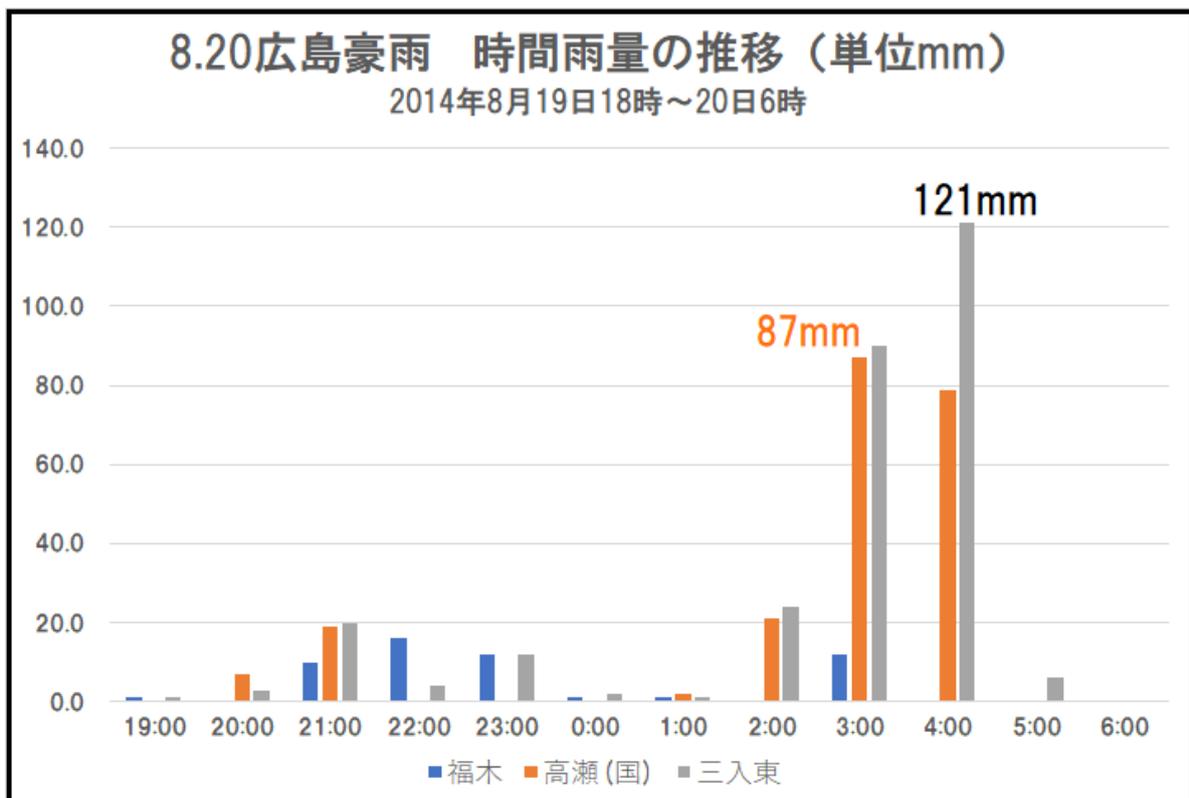


図19. 2014年8月20日の八木付近の雨量

八木付近では午前2時から4時の間に降った雨は、1時間あたり87ミリ・79ミリの猛烈な雨だった。可部付近では90ミリ・121ミリとさらに猛烈な雨だった。昨年7月に、このような雨が福田で降っていれば、八木で起きた災害と同様の災害が起きていた可能性がある。